

2026(令和8)年10月23日

報道関係者 各位

松 山 大 学
(全1枚送信)**全国大会への切符を懸け、学生が本の魅力を競う！
全国大学ビブリオバトル2026 四国ブロック決戦 開催**

10月31日(土)10時30分～ 愛媛大学 E.U. Regional Commons(ひめテラス)にて

10月31日(土)に行われる「全国大学ビブリオバトル2026四国ブロック決戦(主催:愛媛地区大学図書館協議会)」において、松山大学から経営学部経営学科3年次生 和田 弘明(わだ ひろあき)さんの出場が決定しました。この四国ブロック決戦では愛媛県内各大学の代表者が競い、優勝者には11月23日(月)よさこい高知文化祭2026(会場:高知市文化プラザかるぽーと)にて開催される全国大会の出場権が与えられます。

今年の四国ブロック決戦を制し、全国へと駒を進めるチャンプ本は何か?どのような書評合戦が行われるのか?読書の秋にふさわしいイベントです。ぜひ、ご取材ください。

「全国大学ビブリオバトル」とは

出場者の大学生・大学院生をはじめ、全国各地のブロック予選主催者、ブロック決戦主催者、本戦主催者、そして予選・本戦の観戦者とのコラボレーションによる、ビブリオバトルの祭典。全国各地のさまざまな団体が主催するブロック予選→ブロック決戦でチャンプ本を獲得した大学生・大学院生が本戦にのぞみ、そこでグランドチャンプ本が決定。

→ 過去、全国大学ビブリオバトル2022において、本学学生が特別賞を受賞。全国大学ビブリオバトル2025においては、本学学生がファイナルに進出。

ビブリオバトルとは

参加者同士で自分の気に入った本を持ち寄り、その本の魅力を紹介し合う書評ゲーム。発表参加者が一人 5 分間で 1 冊の本を紹介し、それを聞いた参加者とディスカッションを行う。全ての発表終了後、どの本が読みたくなったかを基準に、参加者全員で投票し勝者を決めるもの。最多票を得た本を「チャンプ本」と呼ぶ。2007 年に当時京都大学の研究員であった谷口忠大氏らによって考案され、その後全国に広まり、図書館、学校、書店など、さまざまな場で開催されている。

<全国大学ビブリオバトル2026 四国A及びDブロック決戦 開催概要>

開 催 日 : 2026年10月31日(土) 10時30分～12時30分<予定>

開 催 場 所 : 愛媛大学城北キャンパス

E.U. Regional Commons(ひめテラス)1階 NP地域交流ルーム (松山市文京町3)

参 加 者 : 本学学生を含む大学院生・学部生・短大生

主 催 : 愛媛地区大学図書館協議会

本学出場者 :

【松山大学前期ビブリオバトル優勝者】経営学部経営学科3年次生 和田 弘明(わだ ひろあき)さん

【松山大学後期ビブリオバトル優勝者】法学部法学科3年次生 玉田 美乃(たまだ よしの)さん

<出場者コメント>

経営学部経営学科3年次生 和田 弘明(わだ ひろあき)さん

昨年、本学で開催された後期予選に初出場した際は、決選投票の末に表彰台を逃し、悔しい思いが残りました。

その経験から再挑戦を決意した今年度前期の予選では、昨年の全国大会のチャンプ本発表者の方を参考にして臨んだこともあり、優勝することができました。今回、初めてブロック決戦に進むこととなり、とても緊張していますが、この本をみんなに読んでほしいという思いを胸に、本の魅力をしっかりと伝えて、悔いの残らない発表にしたいです。

